

<資料3-1> 令和3年度上半期実施状況について【幼年就学期部会】 テーマ：子どもと親の居場所づくり+(プラス)

基本理念

【幼年期】誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを展開します。

【就学期】豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

R3年度 部会で深掘りする問題点	R3.9月末までの取り組み状況	問題解決のための課題	R3年度今後(下半期)の取り組み	R6に目指す姿
<p>【保育等の受入態勢】 (主体：こども課) 保育所・幼稚園・児童クラブ等では、加配保育士や支援員不足などにより、子どもたちの受入態勢に懸念が生じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度途中の産休育休保育士に対する代替職員はほぼ確保できている(加配職員の配置要望にはすべて対応できていない) ・児童クラブの支援員はほぼ確保できている(要支援児の対応に苦慮) 	<ul style="list-style-type: none"> ・産休育休となる保幼職員情報の把握と職員配置調整を迅速に行う必要がある。 ・児童クラブ支援員は確保されているが、要支援児に手を取られておりその分支援員の確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4保幼入所希望者・児童クラブ入会希望者数等の早期把握とともに、加配が必要な要支援児の情報を迅速に収集し、その対応策(人材確保や専門機関への照会)など行う。 ・代替保育士の雇用に努め、就業環境を維持しつつ受入態勢を整えていく。 	<p>プラス発信力(発信の仕方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもたちが安心して過ごせる「居場所」がある。 ◆その「居場所」を継続するためのサポート体制を構築する。
<p>【公園の整備・周知】 (主体：こども課、商工観光課、部会事務局) 安全に遊べる公園が少ない。どんな公園があるのか知らない。(遊具種類、手洗い場、駐車場の有無など情報不足)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「香南キッズ」サイトのリニューアルに合わせ、手洗い場や駐車場等の設備情報を写真や動画で提供できるよう準備中。 ・KCTVで「お出かけマップ」掲載場所を番組で紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「香南キッズ」サイトのリニューアルが3月完了予定であるが、それ以後もKCTVの「お出かけマップ」番組を作成する予定であり、YouTubeに動画を反映できるように調整協議が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「香南キッズ」サイト及び「子育てガイドブック」の改訂時に、QRコード付きマップページの作成。(3月完了予定) 	
<p>【朝食の摂取】 (主体：健康対策課、学校教育課) 朝食を摂らない、摂れない子どもがいる。保護者に必要性を啓発しても改善されないケースもある。レシピ情報を得ても実際に作ることに繋がっていない場合もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeで簡単に作れる朝食メニューの情報発信 ・香南ケーブルテレビでの放送 ①「マチの出来事」終了後に料理動画の放送(R3.8月から) ②「市役所からのお知らせ」でYouTubeの動画紹介(R3.9月) ・香南市食育推進検討委員会で「食育だより」を作成し、市内中学校の生徒(711人)に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方に見てもらうために広報、市ホームページ、保育所の給食だよりでの啓発など多方面からの啓発を実施。 ・市内全小学校の5年生を対象に朝食づくり事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeのメニュー追加とQRコード付の献立表の配布。 ・香南ケーブルテレビの動画放送の継続。 ・保幼小の児童向け「食育だより」の作成・配布。 ・市内全小学校の5年生を対象に朝食づくり事業を実施。 	

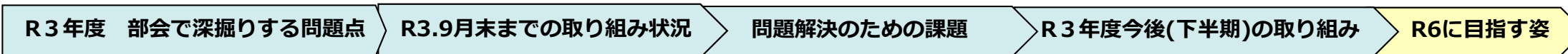
<資料3-2> R3年度上半期実施状況について【成年熟年期部会】

テーマ：健康で楽しく地域で暮らすことができる。

基本理念

【成年期】 誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

【熟年期】 にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。



【人権啓発】
(主体：生涯学習課、人権課)

新型コロナウイルス感染症や障害、様々な特性に応じた配慮等への理解が進んでいるとは言えない状況であり、今後も啓発が必要。

- ・「障害者」の人権として市民向けの研修会(人権フェス)を11月に開催予定。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大で活動が行えていないが、市の広報誌で毎月人権通信としてワクチンハラスメントや障害などさまざまな人権について啓発をしている。

- ・パラリンピック開催で多くの市民が障害者への関心や理解が深まっているように思うが、さらに障害者に関する理解や制度について学ぶ必要がある。

- ・障害者差別など香南市の人権課題について市の広報誌(じんけん通信)で継続的に啓発を行う。パラリンピックなど市民に関心を持ってもらえる機会を捉え、障害者理解に関する講習会を開催する。



【移住促進】
(主体：地域支援課)

移住から定住、そして地域の活性化につなげるため、移住・定住施策の効果的なPRや、移住後のアフターフォローへの取り組みが必要。

- ・コワーキングスペースの整備は、公共施設を候補地として検討をしている。
- ・地域と連携した空き家バンク物件の掘り起こしや、関係課と連携した移住情報の発信などを行っている。
- ・移住後のアフターフォローの取組として、移住者交流会の企画や移住者アンケートを実施している。

- ・コワーキングスペースの候補地が津波浸水エリア内にあるため場所の選定が難しい。
- ・移住希望者にとって、有益で魅力ある情報発信内容・方法の工夫や、空き家バンク登録件数の増を図る必要がある。
- ・移住者交流会や移住者アンケートにより、移住者の意見等を的確に把握する必要がある。

- ・コワーキングスペースの整備については引き続き関係機関と協議検討をしていく。
- ・市ホームページのリニューアルに合わせて、さらに見やすい情報発信内容・方法に向けた見直しを行う。
- ・地域と連携した空き家の掘り起こしに引き続き取り組む。
- ・移住者交流会を実施し、移住者の意見等を集約し移住から定住につなげていく。

◆ウォーキング&サイクリングで健康増進
◆住みたいまち、住んで良かったと思えるまちになる。

【健康増進】
(主体：健康対策課、生涯学習課、商工観光課)

心身共に健康で楽しく暮らすための支援が必要。

- ・誰もが分かるウォーキング&サイクリング用パンフレットを作成。(準備中)
- ・自転車活用推進計画を策定中 策定委員会1回・各4作業部会×1回ずつ開催
- ・健康体操や軽スポーツ教室を開催(188人参加)
- ・健康と美容も含めた教室を開催(R2漢方教室、R3すいみん教室3回11月開催予定)
- ・公共施設や観光施設からの距離が見える「見える化」事業を検討。「ちよこつとぶらり散歩道」(案)

- ・自転車活用推進計画策定後、誰もが分かるウォーキング&サイクリング用パンフレットを作成。
- ・「見える化」事業を実施するための市道等に目印をする場所の選定(歩行者が安心して歩ける場所の選定)
- ・電柱を利用する場合は電力等への許可が必要。
- ・公共施設からの距離以外に表示する内容を協議。

- ・ウォーキング&サイクリング用パンフレットを活用した事業や健康サイクリング・健康ウォーキング事業の普及活動を行い、健康で生きがいをもって生活できる基盤づくりを行う。(3月10日に健康ウォーキング大会開催)
- ・健康体操などの誰もができる軽スポーツの充実を図りまた、「食のあり方」など健康と美容も含めた事業を継続し実施する。
- ・公共施設や観光施設からの距離が見える「見える化」事業を推進する。
- ・自転車活用推進計画策定委員会を開催し、計画策定を行う。

人口増につながる

【高齢期】健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

R3年度 部会で深掘りする問題点	R3.9月末までの取り組み状況	問題解決のための課題	R3年度今後(下半期)の取り組み	R6に目指す姿
<p>【移動支援】 (主体:高齢者介護課・地域支援課)</p> <p>「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.9月より移動支援コーディネーターとして、地域おこし協力隊が着任。香南市内の移動支援の現状把握のため、市や社協の事業への同行を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズの把握や、活動方法の検討が必要。 ・担い手の確保 ・関係課や関係機関との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援コーディネーターを中心に、地域ニーズの把握や活動方法の情報収集を行う。 ・運転ボランティアとの情報交換等を行い、新たな取り組みを検討する。 	<p>◆高齢となり、虚弱となっても認知症となっても、できる限り住み慣れた自宅でこれまでの生活を続けていける環境</p> <p>◆地域での支え合いがあり、住んで良かったと思える環境</p>
<p>【担い手の育成】 (主体:高齢者介護課)</p>  <p>軽度生活援助事業のサービスを提供する担い手が不足している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・香南市内で介護保険外の生活援助サービスを提供している10事業所を対象に調査を実施し、地域資源の洗い出しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足は地域共通の課題であるため、現在の委託先であるシルバー人材センターの受け入れ体制の強化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手養成研修を実施し、シルバー人材センターの新規援助員の獲得および既存の援助員の技術向上を図り、安定したサービス提供を目指す。 ・シルバー人材センターの援助員の報酬改定の検討を行う。 	
<p>【ごみ出し支援】 (主体:高齢者介護課・環境対策課)</p> <p>「高齢者(要支援・要介護)のごみ出しに困っている」という現場の声がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年5月から事業開始。 ・市広報誌、市HP等を用いた広報活動を実施。(利用者10名 R3.9.21時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が当初の想定を下回っており、潜在的なニーズの掘り起こしが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会やふれあい祭り等の場を活用した広報活動を実施する。 ・高齢者介護課からの郵送物に事業のチラシを同封し利用の促進を図る。 	